



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

先進各国の金利が低水準に維持されたまま、世界同時好況と言われるグローバルな景気拡大基調が続く中で、一本調子に世界全体の株価が押し上げられる「適温相場」が昨年来続いて来ましたが、2月に入るや米国金利上昇を機に状況が一変しました。

2月第一週だけで世界の株式時価総額は6%（約5兆ドル）もの減少となり、不意を突かれた相場下落に適温を前提とし楽観が支配していたマーケットには、下落幅以上の衝撃が走ったようです。

確固たる歴史的事実として、ずっと上がり続ける相場はないわけで、今回の下落も一方向に上昇し続けたヒートアップの調整作用でしょう。国内の個人投資家動向を振り返ると、年明けからの大きな上昇局面で資金投入へと向かった投資家がどっと増えていましたが、おそらく右肩上がり前提に慌てて飛び乗った俄か投資家が多数含まれていることでしょう。今回「こんなはずじゃなかった」ともう狼狽売りにして早々退場してしまった投資初めてさんも結構いるとしたら実に残念なことです。

適温相場は終了したのでしょうか。これから暫し相場は振幅が大きいまま上下を繰り返すのかもしれませんが、株式市場は充分割安になったという有識者コメントも見られますが、理論的に割安になったから必ずしもすぐに価格が素直に反応するとは限らず、暴落第二波、第三波が来ることは過去いくらでもあったことで、目先の相場を当てることは困難です。

「セゾン号」は目先の相場動向を、大波も小波もノイズとして受け入れています。本物の長期投資とは成長が想定出来る投資対象にお金を働かせる行動であり、長期的成長軌道は調整相場とは無関係です。

晴れの日も雨の日も、風向きが変化しようとも「セゾン号」の長期投資スタンスは揺らぎなく、世界経済の成長軌道をしっかり捉えて進み続けます。

代表取締役社長 中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号
加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

2月の市場動向

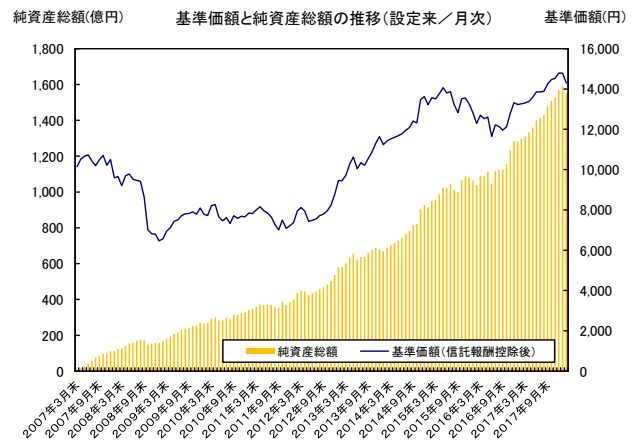
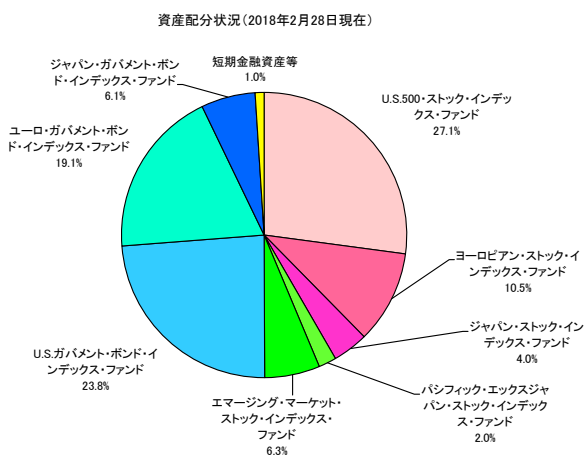
株式：【米国での長期金利の上昇をきっかけに途中まで大きく下落したものの、その後は落ち着きを取り戻して下落幅が縮小】
米国で税制改革による大規模な減税の結果、物価の上昇圧力が強まることや財政赤字が拡大することへの懸念が広がって長期金利が上昇し、資金流出への警戒が高まって途中まで大きく下落しましたが、その後は長期金利の上昇が一段落したことを受けて反発に転じました。

債券：【米国債が下落した一方でユーロ圏の国債は堅調。日本国債は金融緩和の長期化観測が高まり上昇】
税制改革による物価上昇観測や財政赤字の拡大観測が高まったことを受けて米国債が下落した一方で、ユーロ圏の国債は金融緩和の長期化観測が維持されて堅調な展開でした。日本国債は政府が金融緩和を後押しする日本銀行の人事案を提示したことを受けて上昇しました。

為替：【利上げ観測が高まったドルが堅調な展開となる一方で、ユーロがやや軟調。円は上昇し、対ドル、対ユーロで円高】
ドルは、米国で税制改革による景気の加速への期待が高まり、利上げ観測が高まったことを受けて堅調な展開となり、ユーロは景気の先行きに対する明るい見方がやや後退して軟調な展開となりました。円はリスクを回避する動きが強まったことを受けて上昇しました。

基準価額と純資産総額及び騰落率（2018年2月28日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,295円	1548.9億円	+42.95%	-3.34%	+2.95%	+7.76%



2月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、株式市場が下落したことを受けて相対的に組入れ比率が上昇した債券ファンドを売却し、株式ファンドを購入することにより、リバランスを行なったほか、定期積立プランなどのご購入により、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って債券ファンド及び株式ファンドへの投資を行いました。

ファンドマネジャーからの一言

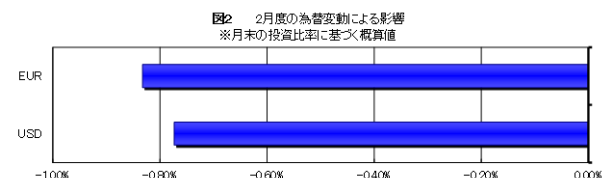
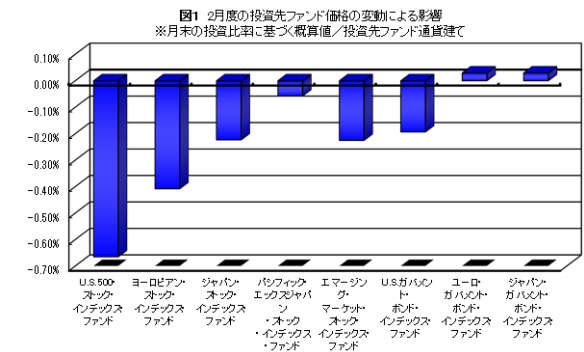
今月は、株式に投資するファンドが全て下落したほか、米国債に投資するファンドが下落し、投資先ファンドが基準価額の下落要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円高となり、基準価額の下落要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は下落しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部長 瀬下 哲雄



当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.68%±0.03%（税込/概算）となります。

その他の費用・手数料

当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

投資対象とする投資信託証券：

- ・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。
- ・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）